



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月6日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6249 URL <https://www.gjhd.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 聡
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 原 明彦 (TEL) 03-6803-0301
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	31,915	11.0	8,433	△7.8	8,753	△6.4	6,149	△3.9
2024年3月期第3四半期	28,764	86.0	9,149	201.9	9,355	198.1	6,401	157.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 6,392百万円 (△2.1%) 2024年3月期第3四半期 6,528百万円 (257.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	422.85	422.81
2024年3月期第3四半期	449.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	67,483	58,136	86.1
2024年3月期	65,570	54,376	82.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 58,136百万円 2024年3月期 54,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.50	—	37.50	60.00
2025年3月期	—	50.00	—		
2025年3月期（予想）				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	36,000	△0.8	10,000	△5.0	10,000	△7.2	7,500	△0.7
								511.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名） 、除外 1社（社名）株式会社NCL

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料6ページ及び7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更) 及び (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	14,681,400株	2024年3月期	14,681,400株
2025年3月期3Q	658,403株	2024年3月期	23,403株
2025年3月期3Q	14,542,542株	2024年3月期3Q	14,239,629株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(連結範囲の重要な変更)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等により、緩やかな回復基調にあるものの、一方で賃金水準を上回る物価上昇や、中東地域をはじめとした地政学的リスク、中国経済の先行き懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

そうした中、遊技業界においては、2024年7月の新札発行に伴う紙幣識別機交換やダウンロードなどの改刷対応が一巡したものの、スマートパチンコの新機能である「ラッキートリガー」搭載機がリリースされたことにより、パチンコのスマート化が進みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は31,915百万円（前年同四半期比11.0%増）、営業利益は8,433百万円（同7.8%減）、経常利益は8,753百万円（同6.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,149百万円（同3.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は67,483百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,912百万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が5,737百万円増加した一方で、投資有価証券が1,962百万円、有価証券が1,194百万円、商品及び製品が509百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は9,347百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,846百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が1,811百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は58,136百万円となり、前連結会計年度末と比較し3,759百万円増加いたしました。

これは主に、控除要因となる自己株式が1,318百万円増加した一方で、利益剰余金が4,866百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月9日付「2024年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,540	19,278
受取手形及び売掛金	5,707	6,054
営業未収入金	359	355
有価証券	18,789	17,595
供託金	4,418	4,528
商品及び製品	9,613	9,103
原材料及び貯蔵品	208	164
その他	731	643
流動資産合計	53,368	57,723
固定資産		
有形固定資産	552	558
無形固定資産	924	603
投資その他の資産		
投資有価証券	9,257	7,294
その他	1,501	1,334
貸倒引当金	△32	△31
投資その他の資産合計	10,725	8,596
固定資産合計	12,202	9,759
資産合計	65,570	67,483
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,338	3,936
営業未払金	3	6
未払法人税等	2,918	1,107
引当金	217	87
その他	2,147	1,768
流動負債合計	8,626	6,906
固定負債		
引当金	21	29
退職給付に係る負債	492	468
その他	2,054	1,943
固定負債合計	2,567	2,441
負債合計	11,194	9,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,956	5,956
資本剰余金	5,518	5,518
利益剰余金	43,145	48,011
自己株式	△28	△1,347
株主資本合計	54,591	58,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△247	△3
その他の包括利益累計額合計	△247	△3
新株予約権	32	—
純資産合計	54,376	58,136
負債純資産合計	65,570	67,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	28,764	31,915
売上原価	15,383	19,460
売上総利益	13,381	12,454
販売費及び一般管理費	4,232	4,020
営業利益	9,149	8,433
営業外収益		
受取利息	93	105
受取配当金	25	50
特許料収入	110	105
投資有価証券売却益	—	90
その他	10	2
営業外収益合計	240	354
営業外費用		
支払利息	3	4
固定資産除却損	26	3
支払手数料	—	26
その他	3	0
営業外費用合計	33	34
経常利益	9,355	8,753
特別損失		
事業撤退損	145	—
その他	11	—
特別損失合計	156	—
税金等調整前四半期純利益	9,199	8,753
法人税等	2,797	2,604
四半期純利益	6,401	6,149
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,401	6,149

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	6,401	6,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	243
その他の包括利益合計	126	243
四半期包括利益	6,528	6,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,528	6,392

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年11月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式635,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,318百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,347百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	538百万円	522百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

当社グループの報告セグメントは、パチンコプリペイドカードシステム関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社グループの報告セグメントは、パチンコプリペイドカードシステム関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(連結範囲の重要な変更)

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であった株式会社NCLは、同じく当社の連結子会社である日本ゲームカード株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社の連結子会社である日本ゲームカード株式会社は、2024年8月26日開催の取締役会において、使用事務所の一部移転に関する決議をいたしました。これに伴い、移転後利用見込みのない固定資産について耐用年数を、また敷金の償却期間をそれぞれ短縮し、将来にわたり変更いたしました。

この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ92百万円減少しております。